

令和8年度用

改訂新版

数学の新研究

埼玉県 高校入試情報

令和7年度埼玉県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 標準の学力検査問題と、より応用的な学校選択問題の2通りの問題がある。
- 学力検査問題の大問数は4問、小問数は23問で、例年どおり。
- 大問1は小問集合、大問2は作図、証明、大問3は規則性の問題(会話形式)、大問4は関数が出題された。
- 大問1は16問で、配点は65点。前半は計算、後半は三平方の定理と体積・面積、確率、2次方程式の利用、データの活用(記述)などが出た。
- 全文記述形式の図形の証明問題や式による説明など、記述力を必要とする問題や作図も例年出題されている。

★埼玉県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p. 82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p. 96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
- また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p. 182～183)で、集中強化できます。

■ 読解力・表現力をみる問題の出題

・問題文をしっかり読みとり、理由や考え方を説明する必要のある、読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう、解答形式に慣れておく必要がある。

新研究で対策！

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p. 172～173)、「書くことに慣れよう！いろいろな記述問題」(p. 174～175)で、様々なパターンに取り組むことができます。

大問1の配点の割合が大きいため、基本問題で確実に得点できるように練習しておこう。



★埼玉県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	●
	方程式		●	●	●
	比例と反比例	●	●	●	●
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	
	データの分析と活用			●	●
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方		●	●	●
	三角形	●	●		
	平行四辺形	●		●	●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●		●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査	●	●		
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4
	小問数	23	23	23	23
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	2	2
		立式・解法の過程の記述	1		
		作図(図形)	1	1	1
		作図(グラフ)			

★新研究で出題した埼玉県の入試問題(令和7年度)

p.23大問1(2),p.57大問4(3),p.65大問1(1),p.135大問3,p.147大問3